戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月07日	作成者名	渡邉 昌彦	評価者名	駒崎 稔

1. 施策の位置づけ *<PLAN>*

ſ	基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	市民生活部・協働推進課
	分 野	01 協働	月月 /安 書田	
I	施策	72 地域コミュニティの活性化	- 関係課	
	施策の目的	より住みやすいまちとするため、地域の様々な課題に します。	ついて、市民自	らが共に考え、共に解決していく社会の実現を目指

2. 施策の主な取り組み *<DO>*

取り組み①	町会・自治会活動支援事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果 (主な指標) < CHECK >

		LUNZ										
指標名	指標の説明	単位	目標値	達成値								
141宗石	[口保心	H 2 7	H 2 8	H 2 9	нзо	H 3 1	H 3 2			
地区コミュニティ協議会数	コミュニティ協議会の設立数	団体	2	1	1							
戸田ふるさと祭り来場者数	戸田ふるさと祭りが行われる2日間の 来場者数	人	75, 000	70, 000	40, 000							
その他施策の取組事項に 係る成果												

4.施策の展開 *<ACTION>*

現在、市内の地域コミュニティについては、既存の町会・自治会を中心として形成されているが、町会・自治会において、加入率の減少や、担い手の高齢化などの課題があり、地域コミュニティが活性化しにくい状況である。また、町会・自治会の他にも様々なコミュニティ関連組織、市民活動団体等が存在し、地域において活動をしているが、相互の連絡体系が明確に整備されていないという課題があり、広域の地域コミュニティ組織の形成にまで至っていない。

地域コミュニティの活性化には、まずは中心となっている町会・自治会の活動の活発化へ向けた支援として、町会連合会を中心に、加入促進や負担軽減に取り組んでいく。併せて、戸田ふるさと祭りや市民憲章など、地域への愛着を促すための事業を実施していく。町会・自治会を含めた地域で活動している様々な組織等が、相互に連携・協力することにより、「地域コミュニティ推進計画」に基づく、地区コミュニティ協議会の設置を促すことができるため、継続的に働きかけていく。コミュニティ施設は地域コミュニティの意見を聞きながら、コミュニティ活動がより活性化されるように運営を工夫していく。

〇結果と今後の方向性 (シート作成次長記入)

∥ 進捗状況		ふるさと祭りは、開催場所や内容の再検討など、より魅力ある祭りとなるよう実行委員会へ
(A躍進中、B予定通り、C遅れ気味)	説明	働きかけていく。町会・自治会への支援は、活動が活発化するように、必要な支援を引き続
C	(総評)	き行う。地区コミュニティ協議会は、それぞれ地区の状況に合った支援を行っていく。施設
		の管理運営は、地区コミュニティと連携し、より効果・効率的となるように働きかける。
今後の方向性(人員/予算)		地域コミュニティがより活性化するためには、ふるさと祭りやコミュニティ施設の管理運営
(↑増加、→維持、↓削減)	説明	、町会活動の支援など、随時見直しを図りながら実施していく事業や、町会加入の促進やコ
\longrightarrow	(人員/予算)	ミュニティ協議会設立などの状況を把握してタイミングを逃さず取り組む必要がある課題が
		あり、人員・予算とも現状を維持したい。

応

(評価者コメント)

地域コミュニティの活性化には、地区コミュニティ協議会の設置が重要であり、その組織の中心となりうる町会・自治会の活動を活発化させる支援に取り組むことが最重要である。地域で活動している市民活動団体等との連携・協力を推進していく中で、活発な町会活動を行うことで、市民の地元地域への愛着意識を高めていき、地域における意識の高まりを前提に、地区コミュニティ協議会の組織化に向けた支援について工夫を行い、引き続き、多くの市民が積極的に地域にかかわる活気ある地域づくりに取り組んでいく。

戸田市 施策評価シート

作成日 平成30年06月07日 作成者名 渡邉 昌彦 評価者名 駒崎 稔

5. 事務事業の検討 【一般会計】 (単位:千円)

		± 70 ± 14 0		事務	8事業評価の結果						★事務事業の方向性					Н	
		事務事業名		H29決算額			評価	i結果								事業費	
*	ф	事業コード	事	H30予算額	事業	実施	施			受	事業	実施	施			31	
大事業	中事業	事業内容	事業区分	H 事業費 31 計 うち一般財源 画額 人件費	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性	事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度	コメント		予算額	うち 一般財源
01	市區	民交流事業 (協働推進課)															
		市民交流事業		9, 464 9, 505													0
	01	010201130101戸田ふるさと祭りは、とだわ	任意	9, 505 9, 505	1	0	В	В	В	В	1	0	В				0
		らび青年会議所が中心となり		2, 414													
02 ſ	協賃	動推進事業 (協働推進課)	1	40.000		1	I				_	1		1,1,1,2,4,			
		町会・自治会活動支援事業		43, 360 42, 691										地域コミュニテ 中心となってい			0
	02	01 02 01 13 02 02	任意	48, 120	1	0	В	В	В	В	1	0	Α	中心となってい 会・自治会の活			
	-	町会活動が円滑に行えるため	意	48, 109		`								活発化へ向けた			0
		の町会会館等整備や町会掲示		7, 587										が重要となる。			
Ì		地域コミュニティ推進事業		4, 923													0
				7, 500													U
	03	01 02 01 13 02 03	任意	7, 600	1	0	В	В	В	В	1	0	В				
		行政と市民との協働によって	,65	100													0
		策定された「地域コミュニテ		1, 931													
01 [也	民憲章推進事業 (協働推進課) 「去日寓音##恵#) 	1 000		1	I	1					l	ψη ψ≠ ΔΕ + ΣΕΦ 2 ° ΣΤ	±+ 1 €		
		市民憲章推進事業		1, 260 1, 630										継続的な啓発活 必要だが、実施			0
	01	01 02 01 15 01 01	任	1, 830	1		В	В	В	В	1		С	必妾にか、夫他 については、随			
	UI	01 02 01 13 01 01 戸田市民憲章の主文として掲	意	1, 398	'						'		~	ic ういては、心 討していく必要			0
		げている5項目の日常におけ		1, 241										る。	ן נשינו:		O
01	<u></u>	コミュニティセンター管理運	 営費					I					l	1 0 °			
ſ		笹目コミュニティセンター管		79, 100													
		理運営費		142, 692													0
	01	01 02 01 19 01 01	任意	60, 498	1		Α	A	В	В	1		В				
		指定管理者である笹目コミュ	~	60, 452													0
		ニティ協議会による、センタ	L	2, 759													
02	新間	曾南多世代交流館管理運営事業	_	協働推進課)		1		1	1					<u> </u>	- 1		
		│新曽南多世代交流館管理運営 │ _{恵 業}		51, 948 52, 935													0
	01	事業 01 02 01 19 02 01	任	52, 935	1		В	A	В	Α	1		В				
	O I	01 02 01 19 02 01 指定管理者制度の導入によ	任意	51, 386	ı.			^`		, ,	Ι΄.						0
		り、より多くの市民に施設を		3, 104													v
									H29	決質	額	H:	30予1	算額 H31計画	1額	H3	1予算額
				計(千円) [事	業費			決算 190,		НЗ	30予算 256		画額 , 991	НЗ	1予算額
				計(千円		事 うち-					055	Н	256	6, 953 179		НЗ	